



第629号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港会馆5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール roren@knsu.jp
ホームページ http://knsu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局

3月11日(水) 10:00~11:30 第3回 検数労連20春闘交渉

有額回答に向けた考え方:両協会ともに精査中。

新型コロナウイルスの影響により、20春闘交渉、一時中断を決定。

3月11日(水)第3回検数労連20春闘交渉で、組合は両協会に対し、有額回答に向けた考え方・長時間労働対策・年休消化対策・新型コロナウイルス対策等の披歴を求めました。

【日検協会】

19年度の利益見込み、20年度の計画等については、各支部との調整段階であり、並行して有額回答に向けた考え方についても思案中であることから、詳細についてはまだ披歴できる段階にない。時間外対策について、19年4月~20年1月までの間、80時間超の従業員はゼロ。年休5日の消化率については全国で90%以上消化しており、3月末までには100%取得できるよう、対策をしている。

新型コロナウイルスの対策では、手洗い、うがいの励行、不必要な外出を控えるよう周知して対応を取っている。

【全日検】

現在、収支状況の見直し、予算編成等を行っている最中であるが、全日検を取り巻く環境については従来にはない厳しい状況となっていることから、有額

回答に向けた考え方については今しばらく時間をいただきました。

時間外対策について、各支部での労使時短委員会や人員採用、得意先への協力依頼などを通じて、時間外の対策を行っており、一定の成果は出ている。

年休取得については、全国的な年休取得率については35%程度となっているが、働き方改革関連法にある有給5日の取得率については対応を各支部で行っており、数字は持ち合わせていないものの順調に消化している状況にある。

新型コロナウイルスの対策については各支部に周知を徹底している。また、内勤についてはデスクの配置を変えて一定の距離を取ったりするような工夫をしながら対策している。

【次回交渉について】

20春闘における中央港湾団交等が新型コロナウイルス感染症の影響によって中断された経過を受け、両協会から次回交渉中断の申し入れがされました。組合は両協会の申し入れを受け、休憩を挟みながら対応を協

議した結果、次のような主張を行いました。

【組合主張】

交渉中断の申し入れについては、昨今の新型コロナウイルスの影響を鑑み、受け入れざるを得ないという認識でいる。しかしながら、労組指定の有額回答指定日については全国の仲間とともに決めた要求の一つでもあるし、20春闘の有額回答を心待ちにしている組合員も多い。

そのような中で、労使の折衷案として検数労連春闘交渉は一時中断とするが、25日の有額回答指定日には労使事務局での『新型コロナウイルス対策等の安全衛生』を中心とした事務折衝を申し入れる。その中で、今後の交渉の進め方も含めた意見交換をしていきたい。以上の経過から、次回交渉については事務折衝となります。

